

ご挨拶



岡山大学大学院社会文化科学研究科は、文学部、法学部、経済学部の3つの学部を基盤とする学際型・融合型の大学院です。高度な専門教育を受けて修士の学位を取得する「博士前期課程」と、さらに各専門分野において深く学問に親しみながら最先端の成果を生みだして、博士の学位取得を目指す「博士後期課程」を設置しています。

西日本における学術研究の中核拠点の1つとして国際水準の研究・教育を行い、高度な専門性と幅広い視野および豊かな人間性を備えた有為な人材を育成することを目指しています。そして地域の行政や企業をはじめとする様々な主体と深く結びつくとともに、地域の文化・社会・経済にも大学院として貢献したいと願っています。

国際交流に熱心に取り組んでいることも、特徴として挙げられます。研究科附置施設として「東アジア国際協力・教育研究センター」を持ち、積極的に教育研究の国際化を進めています。国際交流協定に基づく留学交流を行い、外国の大学と岡山大学と両方の学位が取得できる双方向学位制度も導入しています。

実際に学んでいる人たちをみると、多様性の高さが印象的です。まず、社会人・職業人が多く在籍しています。この意味で本研究科において、学びはまさに一生のものとなっています。それから近年は留学生の数が増えており、平成28年度入学者では5割に達しました。国際化の流れの中で、ますます学びに国境はなくなっていくでしょう。

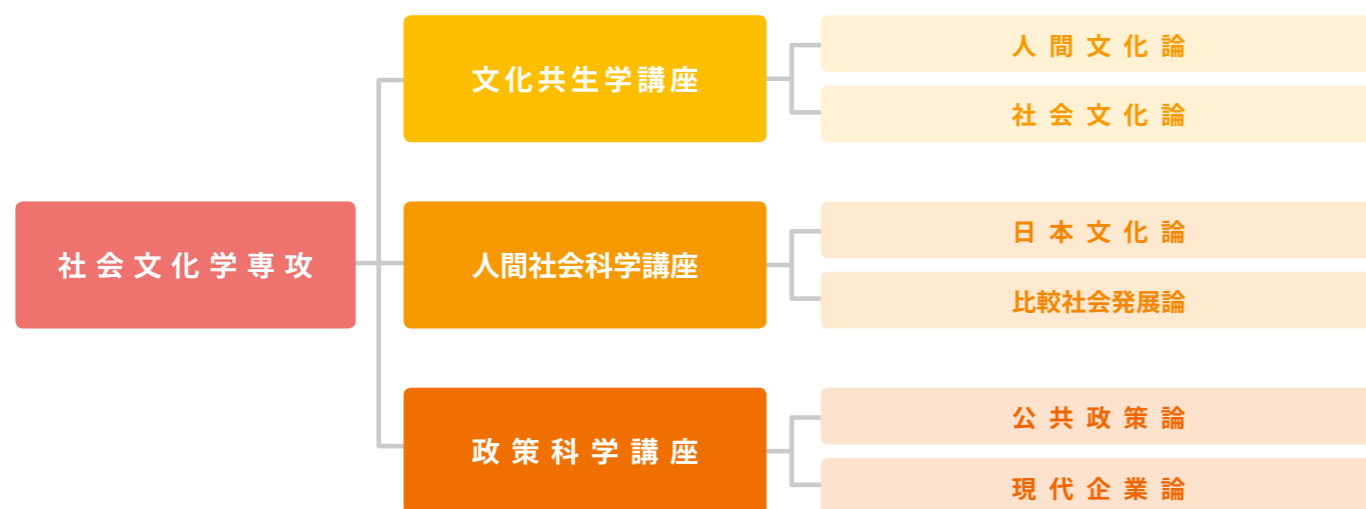
年代も出身地域も経験も様々な方々と一緒に、思う存分学問に取り組むことは、何にも代え難い貴重な体験になります。社会は変化の速度を速めており、少し前には予想もしなかった変化が起きていくでしょう。多くの人々と手を携えて、知恵を束ね、新しい世界に創造的に関わっていきましょう。

本研究科での経験が、その歩みを確かなものにしていくと信じています。

大学院社会文化科学研究科長 田中 共子

博士後期課程

本研究科博士後期課程は、「社会文化学専攻」の1専攻からなり、「文化共生学講座」、「人間社会科学講座」、「政策科学講座」の3講座で構成されています。そして、3講座のもとに、6教育・研究分野（人間文化論、社会文化論、日本文化論、比較社会発展論、公共政策論、現代企業論）を置いています。



博士前期課程

本研究科博士前期課程には、国際社会専攻、日本・アジア文化専攻、人間社会文化専攻、法政理論専攻、経済理論・政策専攻、組織経営専攻の6専攻があり、人文社会科学系のほとんどの学問領域を網羅しています。

博士前期課程では、本研究科で学ぶことに興味をもつ方々の多様な希望に応じて柔軟な学修を可能にするため、目的に応じた履修の方法と修了要件を定める2つのプログラムを設置しています。

研究深化プログラムは、専門分野に係る高度な知識・能力と技術・判断力の修得を目指す学生や、博士後期課程へ進学し、博士の学位取得を最終目標とする学生向けのプログラムです。主として、教員や研究者等を養成することを目的とします。

高度人材育成プログラムは、職業等に活かせる専門的な知識の修得を目指す学生や、日本語及び日本社会を始めとする多方面の

知見の修得を目指す外国人学生向けのプログラムです。主として、高度な専門能力をもった職業人を養成することを目的とします。

その一つである英語プログラムは、英語で行われる授業のみによって課程修了が可能な教育プログラムで、英語で行われる授業を専攻を超えて履修する形式をとります。高度な英語の運用能力と学際的なレベルでの多様な知識を運用することができる人間の育成を目的とします。

また、地域公共政策プログラムでは、地域社会で政策形成を担う公務員・企業人・NPO職員等を養成するとともに、中四国地域の地方自治体職員、地方議会議員等の実務家に対して政策人としてのスキルアップを図るためのリカレント教育を行います。

※平成30年2月入試から、研究深化プログラムの一部については、書類審査の段階で、外部検定試験（英語）の成績表が必要となります。詳しいことは募集要項をご覧ください。

